

行政視察報告書

令和 元年 11月 5日

会 派 名 江政クラブ

会派代表者 河合 正猛

(参加者：河合正猛、伊藤吉弘、宮田達男、岡本英明、長尾光春、田村徳周)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和元年10月2日(水)
視察時間	午後1時30分～午後3時30分
視察先	東京都東大和市
視察項目	東大和市学校給食センターについて

②

年月日	令和元年10月3日(木)
視察時間	午前10時00分～正午
視察先	東京都府中市
視察項目	ちゅうバス(コミュニティバス)について

③

年月日	令和元年10月3日(木)
視察時間	午後2時～午後4時
視察先	東京都調布市
視察項目	ごみの個別収集及び減量対策について

④

年月日	令和元年10月4日(金)
視察時間	午前10時～正午
視察先	さいたま市桜環境センター
視察項目	桜環境センターについて

行政視察報告書

①

年月日	令和元年10月2日(水)
視察時間	午後1時30分～午後3時30分
視察先	東京都東大和市
視察項目	東大和市学校給食センターについて
■目的 平成29年4月に稼働を開始した複層階の給食センターについて調査し、江南市において老朽化が進んでいる学校給食センターの統合・新施設建設へ向けての参考にします。	
■内容 東大和市では、限られた敷地を有効活用するため2階に調理室を設け、複層階の給食センターを建築されました。同給食センターでは小学校10校、中学校5校に対し、約7,200食を調理し毎日各学校への配送を行っています。 建物の東側、西側にエレベーターを配置し、西側エレベーターから食材を2階に搬送し、すべての調理を2階で行った後に給食を乗せたコンテナを東側エレベーターから1階におろし、そこから配送車に乗せています。 調理担当者は2階のフロアのみで作業を行うことができるため、実質的に1階建ての給食センターと同様の動きで作業が完結する仕組みになっています。 1階では食べ終わった食器や配膳道具、箸、スプーンなどの洗浄が行われていますが、専用の収納かごが常備されており、収納かごとくに洗浄機に投入することで、自動洗浄が行われる仕組みになっています。 職員は洗浄後の汚れ具合のチェックを行った後に、コンテナに収納かごとくに食器や配膳道具を収め、コンテナを保管場所に収納しています。 コンテナの収納場所は洗浄場の横に配置されていますが、2階建ての建物のメリットを活かして、上下の移動棚形式になっており、コンテナが縦積みで収納できるようになっています。また、この収納棚は2階の調理場にも直接つながっており、わざわざコンテナを2階まで移動させなくても、翌日の調理後の給食をコンテナに乗せることができるようになっています。	
■所感 江南市は10万人都市で、小中学校の学校給食で約9,000食を提供しています。これに対して視察先の東大和市は人口約8.5万人、小中学校の学校給食で約7,200食を提供していました。視察先は、当市と同等の規模の給食センターであり、具体的なイメージ作りにとっても有効でした。近い将来に実施される学校給食センター新施設建設の参考にさせていただきたいと思います。	

行政視察報告書

②

年月日	令和元年10月3日(木)
視察時間	午前10時00分～正午
視察先	東京都府中市
視察項目	ちゅうバス(コミュニティバス)について
■目的 府中市で実施しているちゅうバスは、市内の交通不便地域の解消を目的に公共施設への接続、高齢者や障害者の社会参加の促進等、市民生活の利便を図ることを目的に設置されています。この公共交通について調査し、江南市民の皆さまから寄せられているコミュニティバス導入要望の実現に向けての参考にします。	
■内容 府中市は、JR中央線を始め私鉄路線が複数路線あり、市内に14駅あります。主要駅間を結ぶルートは民間バス事業者の路線がありますが、市の外縁部から市中心部へのルートがないため、鉄道駅から1km圏外、かつバス停から300m圏外の地区(交通不便地域)を対象にちゅうバスを運行しています。また、高齢者や障害者など、移動に制約を伴っている方々の社会活動機会の増大に寄与することや、市の中心部の買物施設、公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与することを目的に運用しています。 運賃は1乗車100円とし、現金、専用回数券(21枚つづり2,000円)、鉄道系ICカードで支払いが可能になっています。 ちゅうバスは運行開始から15年以上が経過し、利用者数は年間200万人を超えるなど、市民の重要な移動手段として定着しています。 ちゅうバスの運行は民間バス事業者にて実施していますが、運賃収入と運行経費の差額は近年1.4億円程度に達しており、差額を市が負担する形をとっています。今後、適切な時期に運賃見直しの判断を行う必要があると考えられています。 今後の課題としては民間バス事業者の撤退により、路線バスの便数が減少している地域への対応など、交通不便地域の増減に合わせた路線見直しを行う必要があります。	
■所感 府中市の面積は29.43km ² であり、江南市(30.2km ²)と同等の面積があります。しかしながら鉄道駅数が14もあり、駅間を民間バス事業者の路線がある前提があり、当市で府中市の事例どおりに実現することは難しいと感じました。路線設定や、停留所設定のルールなど、参考になる部分もあるため、当市で稼働中の「いこまいCAR」や「名鉄バス路線」との共用も含めて、今後の公共交通の有り方を検討する際の参考にさせていただきたいと思います。	

行政視察報告書

③

年月日	令和元年10月3日(木)
視察時間	午後2時～午後4時
視察先	東京都調布市
視察項目	ごみの個別収集及び減量対策について
■目的 調布市では、「家庭ごみの戸別収集」を平成16年2月から開始し、併せて「家庭ごみの有料化」を平成16年4月から開始しております。個別収集と有料化の実施内容を調査し、江南市の資源ごみ地域収集所回収の見直しに向けての参考にします。	
■内容 調布市の面積は、21.58km ² 、世帯数は約12万世帯であり、これを4地区に分けて家庭ごみの戸別収集を行っています。これは、以下の問題を解決することを目的に実施したものです。 ①ごみステーションの確保が困難 ②ごみステーションの不法投棄や鳥獣被害 可燃ごみは週2回(地区により曜日を変更)回収を行い、その他資源ごみは曜日ごとに回収対象を特定して回収を行っています。 戸別収集を行うことで、ごみの排出者責任の明確化やごみの分別排出の徹底が進みました。しかしながら戸別収集により、収集箇所の増大や収集車両、収集要員の増加、狭い場所での通行の妨げ、事故の発生率増大などの問題が発生しています。収集車両、収集要員の増加に対してはごみ回収の有料化により、必要な経費の回収を行っています。 (有料化金額：指定収集袋 Sサイズ(5L) 84円、 Mサイズ(15L) 273円 LLサイズ(45L) 840円) ごみ回収の指定収集袋のサイズが大きいほど割高な金額に設定することで、ごみ減量を促進し、ごみ量の削減につなげています。	
■所感 調布市の世帯数は江南市の約3倍(当市は4.1万世帯)であるが、全戸を対象とした戸別収集の実施が行えています。戸別収集実施による経費増加(市民の費用負担増加)は避けられないものの、不法投棄の減少やごみ減量化、分別排出の徹底などのメリットもあることがわかりました。江南市民の高齢化に伴う資源ごみ収集における立ち当番の負担をなくすことができないか、検討する際の参考にさせていただきたいと思っております。	

行政視察報告書

④

年月日	令和元年10月4日(金)
視察時間	午前10時～正午
視察先	さいたま市桜環境センター
視察項目	桜環境センターについて
■目的 さいたま市で平成27年4月より運用を開始した新ごみ処理施設および熱回収施設、リサイクルセンター、余熱体験施設(有料)について調査し、江南市に建設予定の新ごみ処理施設(2市2町で利用)および発電した電気や回収熱の有効活用に向けての参考にします。	
■内容 さいたま市ではごみ処理施設が4つあり、桜環境センター(シャフト炉式ガス化溶融炉方式)では他3つのごみ処理施設(ストーカー式)で発生した焼却灰を受け入れ、家庭ごみなどと併せて処理を行っています。ごみ焼却で発生する熱エネルギーを利用して高効率ごみ発電を行うとともに、発電後に残った温水を余熱体験施設にて有効利用し、利用者に体験していただいています。 ごみ処理後に発生するスラグやメタルとともに、リサイクルセンターにて分別した資源ごみを細かく粉砕し、民間企業に販売することで、ごみの資源化を進めています。 余熱体験施設では開放的な気分で入浴できる露天風呂や、ウォーキングプール、床暖房完備の大広間やレストランなどがあり、市内60歳以上の方の使用料は100円になっています。(一般は730円、小中学生は310円)同施設の利用者は年間で35万人ほどあり、毎日開場前から利用者が行列をつくるほどの人気施設になっています。 なお、同センターはPFI(Private Finance Initiative:民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う)方式で建設、運営が行われており、さいたま市のごみ処理にかかる費用の削減が行われています。	
■所感 ごみ処理施設と併設されている余熱体験施設では、電気や回収熱が有効活用されているし、利用者からも好評を得ていることがわかりました。施設内には過剰とも思える設備(小人数カラオケルームや麻雀ルーム)もありましたが、これらの設備は無料で利用できるため、利用率はかなり高い状態でした。江南市で建築予定である新ごみ処理施設に回収熱利用施設等の併設を検討する際の参考にさせていただきたいと思います。	